

問1 中国・四国地方の3つの都市における降水量の特徴について説明した次の文章のうち、瀬戸内の気候（広島など）に該当するものはどれですか。

（2021年 埼玉県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 年間降水量が約1500mmと比較的少なく、夏・冬ともに極端な多雨にならない。 | 2. 12月から2月にかけての冬季の降水量が約400mmと、他の時期に比べて多くなる。 | 3. 7月から9月にかけての降水量が約960mmに達し、年間を通じて降水量が非常に多い。 | 4. 1年を通じて降水量が極めて少なく、冬の冷え込みが非常に厳しい中央高地の特色を持つ。 |
|---|---|--|--|

問2 瀬戸内地方は、年間を通して降水量が少なく、晴天の日が多いことで知られています。このような気候が形成される地形的な理由として、最も適切な説明はどれですか。

（2020年 長野県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 冬の北西季節風を中国山地が、夏の南東季節風を四国山地がそれぞれ遮るため | 2. 冬の北西季節風を四国山地が、夏の南東季節風を中国山地がそれぞれ遮るため | 3. 飛騨山脈と木曾山脈が日本海からの湿った空気を遮り、乾燥した風が流れ込むため | 4. 南側に高い山地が存在しないため、太平洋からの湿った空気が雨を降らせずに通過するため |
|--|--|--|--|

問3 中国地方と四国地方の間に位置する地域では、約4170kmにおよぶ島や半島、岬が入り組んだリアス海岸が広がっています。この複雑な地形を活かして、人口が集中する都市の臨海部で特に盛んに行われており、カーフェリーなどの製造を通じて関連産業が集積している工業はどれですか。

（2022年 東京都公立入試 類似）

- | | | | |
|----------------|-----------------|------------------|----------------|
| 1. 瀬戸内工業地域の造船業 | 2. 中京工業地帯の自動車工業 | 3. 京浜工業地帯の石油化学工業 | 4. 阪神工業地帯の金属工業 |
|----------------|-----------------|------------------|----------------|

問4 香川県における2012年から2016年にかけての外国人延べ宿泊者数の推移と、2016年時点の統計において最も大きな割合を占める地域について述べたものとして、正しいものはどれですか。

（2018年 香川公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 全体の宿泊者数は増加傾向にあり、地域別では台湾からの宿泊者が全体の約26.5%を占めて最も多い。 | 2. 全体の宿泊者数は増加傾向にあるが、国・地域別の構成では韓国からの宿泊者が最も多い。 | 3. 全体の宿泊者数は減少傾向にあるが、台湾からの宿泊者のみが例外的に増加している。 | 4. 全体の宿泊者数は横ばいだが、LC C（格安航空会社）の就航により中国からの宿泊者が急増している。 |
|---|--|--|---|

問5 1988年に、岡山県と香川県を結ぶ瀬戸大橋が開通したことによって生じた交通体系の変化として、最も適切な説明はどれですか。

（2020年 千葉県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 本州と四国が陸上で結ばれたことにより、移動時間が大幅に短縮され、人や物の流れが活発になった。 | 2. 本州と四国間の物流が鉄道から航空路へと完全に移行し、瀬戸大橋は観光専用の道路となった。 | 3. 海上の視界が改善されたことでフェリーの運航本数が大幅に増え、陸上交通との競争が激化した。 | 4. 四国地方から本州への人口流出を抑えるため、あえて移動時間がかかるような道路設計がなされた。 |
|---|--|---|--|

問6 四国地方の東部に位置する徳島県の産業構造において、統計資料上、就業者割合が25.3%と高い数値を示し、全国平均と比較しても盛んであるといえる産業分野はどれですか。

（2021年 鹿児島県公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------------------|------------------------|------------------------|--------------------|
| 1. 化学工業などの分野を中心とした製造業 | 2. 果樹栽培や水産業を主体とする農林水産業 | 3. 観光資源を活かした宿泊・飲食サービス業 | 4. 都市機能の集中による情報通信業 |
|-----------------------|------------------------|------------------------|--------------------|

問7 1991年から2000年代にかけての徳島県における小売売場面積の推移について、正しい説明はどれですか。統計資料の数値に基づいた記述を選びなさい。

（2024年 京都公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 1991年の約92万平方メートルから増加し、2004年には100万平方メートルを超えた。 | 2. 1991年から2007年にかけて一貫して減少し続け、商業活動の規模が縮小した。 | 3. 1991年から2016年にかけて、売場面積は常に100万平方メートル以上を維持している。 | 4. 2004年に面積が最小となり、2016年にかけて全国平均を上回る急激な増加を見せた。 |
|---|--|---|---|

問8 高知県のなす栽培において、出荷時期を全国平均のピークである夏場から、3月から5月といった春先にずらして出荷している理由として、最も適切な説明はどれですか。

（2016年 群馬県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|-------------------------------------|--|
| 1. 他の産地の出荷が少なくなる時期を狙うことで、有利な価格で販売するため。 | 2. 夏の台風による被害を避けるため、収穫をすべて春までに終わらせる必要があるため。 | 3. 大都市に近い立地を活かし、輸送費を抑えて新鮮な野菜を届けるため。 | 4. 標高の高い高冷地の涼しい気候を利用して、生育を遅らせる工夫をしているため。 |
|--|--|-------------------------------------|--|

問9 山口県が属する瀬戸内工業地域において、化学工業をはじめとする重化学工業が発達した背景として、地理的条件をふまえた説明として最も適切なものはどれですか。

（2019年 三重公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 波が穏やかな瀬戸内海の沿岸部を埋め立て、大型船による原料の輸入や製品の輸送に便利なコンビナートが建設されたため。 | 2. 内陸部の険しい地形を利用した水力発電によって、安価で大量の電力を得ることが可能になり、アルミニウム工業が発達したため。 | 3. 広大な平野を活用した大規模な機械化農業との兼業が容易であり、農閑期の労働力を活用した繊維工業から発展したため。 | 4. 京阪神・中京・関東の三大都市圏のちょうど中心に位置し、高速道路網を利用した部品の組み立てや加工を行う内陸工業が発達したため。 |
|---|--|--|---|

問10 瀬戸内地域の気候の特色と地形の関係について、そのメカニズムを説明したものとして最も適切なものはどれですか。

（2016年 群馬県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 季節風が中国山地や四国山地を越える際、山地の外側に雨や雪を降らせて水分を失うため、瀬戸内には乾いた空気が流れ込む。 | 2. 日本海側と太平洋側の両方から湿った空気が山地を越えずに瀬戸内へ直接流れ込むため、一年中乾燥した晴天が続く。 | 3. 中国山地が冬の積雪を防ぎ、四国山地が夏の干ばつを防ぐという、山地による二重の保護によって降水量が一定に保たれる。 | 4. 四国山地が南からの台風の影響を弱める一方で、中国山地が北からの冷気を遮断するため、上昇気流が起らず雨が降らない。 |
|--|--|---|---|

問11 日本海に面した山陰地方と、瀬戸内海に面した瀬戸内地方の気候の特色を比較した説明として、正しいものはどれですか。

（2019年 熊本県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 山陰地方は冬に北西の季節風の影響で降水量（降雪量）が多くなり、瀬戸内地方は山地に挟まれているため年間を通じて降水量が少ない。 | 2. 山陰地方は夏に南東の季節風の影響で降水量が多くなり、瀬戸内地方は季節風の影響を直接受けるため冬の降水量が多い。 | 3. 山陰地方は北西の季節風が中国山地に遮られるため年間を通じて乾燥し、瀬戸内地方は冬の季節風によって積雪が多くなる。 | 4. 山陰地方は年間を通じて降水量が極めて少なく、瀬戸内地方は黒潮の影響を強く受けるため冬に温暖で雨が多い。 |
|---|--|---|--|

問12 2022年の統計において、ため池の数が多い上位3県は兵庫県（22,047）、広島県（18,155）、香川県（12,269）となっています。これらの県で共通してため池が多く作られてきた背景として、正しいものはどれですか。

（2024年 大阪公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 年間を通じて降水量が少なく、農業用水を確保するために雨水を貯めておく必要があったため。 | 2. 標高が高い地域が多く河川の勾配が急であるため、生活用水を確保するダムや池の代わりとして整備されたため。 | 3. 冬の降雪量が非常に多く、春先の雪解けによる洪水を防ぐための調節池として活用するため。 | 4. 内陸部で大規模な河川が不足しており、工業用水を安定的に供給するための貯水施設が必要だったため。 |
|--|--|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 年間降水量が約1500mmと比較的少なく、夏・冬ともに極端な多雨にならない。	瀬戸内地方は、北側に中国山地、南側に四国山地が位置しているため、夏と冬の季節風がそれぞれ山地に遮られます。その結果、年間を通じて降水量が少なく、晴天の日が多いのが特徴です。他の選択肢にある「冬季に降水量が多い」のは日本海側、「夏から秋にかけて降水量が突出して多い」のは太平洋側の気候の特色です。
問2	答え 1 冬の北西季節風を中国山地が、夏の南東季節風を四国山地がそれぞれ遮るため	日本の気候は季節風の影響を強く受けますが、瀬戸内地方は北を中国山地、南を四国山地に囲まれています。冬は日本海側から吹く湿った風が中国山地にぶつかって雪を降らせた後、乾燥した風となって瀬戸内側に吹き込みます。夏は太平洋側からの湿った風が四国山地にぶつかって雨を降らせた後、乾燥した風が吹き込みます。このように、2つの山地が障壁となって季節風が運ぶ水分を遮断するため、瀬戸内地方は年間降水量が少なくなります。
問3	答え 1 瀬戸内工業地域の造船業	瀬戸内海沿岸は、多くの島々や入り組んだ海岸線を持つリアス海岸が発達しています。波が穏やかで水深が深い入り江は、大型船の建造や停泊に非常に適しており、古くから造船業が発展してきました。現在でもカーフェリーをはじめとする多様な船舶の建造が行われており、部品供給を行う関連工場も周辺に集積しています。
問4	答え 1 全体の宿泊者数は増加傾向にあり、地域別では台湾からの宿泊者が全体の約26.5%を占めて最も多い。	香川県を訪れる外国人観光客は、2012年から2016年にかけて急速な増加傾向にあります。2016年の調査では、外国人延べ宿泊者数は約25万人に達しており、その内訳を国・地域別に見ると、台湾が全体の約4分の1強となる26.5%を占めて第1位となっています。韓国が最多であるとする認識や、全体の宿泊者数が停滞・減少しているとする説明は統計と矛盾します。
問5	答え 1 本州と四国が陸上で結ばれたことにより、移動時間が大幅に短縮され、人や物の流れが活発になった。	1988年に開通した瀬戸大橋は、本州（岡山県）と四国（香川県）を道路と鉄道の併用橋で結びました。これにより、それまで船舶に頼っていた交通が陸上交通へと転換され、移動時間の劇的な短縮が実現しました。その結果、経済活動や生活圏の拡大など、地域間の交流が非常に活発になりました。
問6	答え 1 化学工業などの分野を中心とした製造業	徳島県は、京阪神に近い地理的条件や歴史的な背景から、化学工業や製菓業などの製造業が非常に発達しています。全就業者に占める製造業の割合は約4分の1に達しており、これは全国平均と比較しても高い水準にあることが、この県の産業構造の大きな特徴です。
問7	答え 1 1991年の約92万平方メートルから増加し、2004年には100万平方メートルを超えた。	徳島県の小売業売場面積は、1991年の約92万平方メートルから2004年には100万平方メートルを超えるまで増加しました。その後、2007年にピークを迎え、以降は緩やかな減少に転じています。この1990年代から2000年代半ばにかけての増加は、当時の商業活動の規模拡大を反映しています。
問8	答え 1 他の産地の出荷が少なくなる時期を狙うことで、有利な価格で販売するため。	野菜の価格は、市場に出回る量（供給）と買いたい量（需要）のバランスで決まります。多くの地域が露地栽培で収穫する夏場は供給量が増えて価格が下がりますが、高知県のように温暖な気候を利用して他の地域が生産できない冬から春に出荷することで、高い市場価格で販売し、農家の利益を増やすことができます。
問9	答え 1 波が穏やかな瀬戸内海の沿岸部を埋め立て、大型船による原料の輸入や製品の輸送に便利なコンビナートが建設されたため。	瀬戸内海沿岸は、遠浅の海が広がっていたため埋め立てが容易であり、さらに波が穏やかで水深を確保しやすかったことから、大型船舶が接岸できる良港に恵まれていました。この立地条件を活かして、海外からの石油などの資源を輸入し、精製・加工を行う石油化学コンビナートや製鉄所が集中して建設されました。
問10	答え 1 季節風が中国山地や四国山地を越える際、山地の外側に雨や雪を降らせて水分を失うため、瀬戸内には乾いた空気が流れ込む。	日本の季節風は、山地にぶつかると上昇して雲を作り、山の風上側に降水をもたらします。瀬戸内地域の場合、夏は南の四国山地の太平洋側に、冬は北の中国山地の日本海側に水分を落とした後の「乾いた風」が吹き込む地形構造になっています。このため、他の地域に比べて年間を通じた降水量が少なく、晴天の日が多いのが特徴です。この気候を利用して、かつては塩田による塩作りが盛んに行われていました。
問11	答え 1 山陰地方は冬に北西の季節風の影響で降水量（降雪量）が多くなり、瀬戸内地方は山地に挟まれているため年間を通じて降水量が少ない。	山陰地方（日本海側）は、冬に湿った北西の季節風が中国山地にぶつかることで、雪や雨などの降水量が多くなるのが特徴です。一方、瀬戸内地方は北側を中国山地、南側を四国山地に囲まれているため、季節ごとの湿った風が遮られ、年間を通じて温暖で晴天の日が多く、降水量が少なくなります。
問12	答え 1 年間を通じて降水量が少なく、農業用水を確保するために雨水を貯めておく必要があったため。	瀬戸内海に面した兵庫県、広島県、香川県などは、中国山地や四国山地に阻まれて雨が少ない「瀬戸内の気候」に属しています。特に稲作が盛んな地域では、夏場の水不足が深刻な問題となるため、古くから雨水を蓄えておく「ため池」が数多く作られ、農業用水として利用されてきました。